

タジキスタン国甘草加工事業工程における回収上液を利用したバイオ技術基礎調査

企業・サイト概要

- 提案企業：宏輝システムズ株式会社
- 代表企業所在地：三重県松阪市
- サイト：タジキスタン国ハトロン州



松阪事業所における回収上液肥料の施肥効果測定試験

タジキスタン国の開発課題

- 独立後の混乱と内戦をへてGDPは1991年から1996年の間に68%も減少したが、1997年以降、経済は回復を続け、国家発展戦略の課題は2015年以降、貧困削減から経済発展へ転換した。開発に当たっては国民の潜在力活用、福祉の増進、経済の工業化による国際競争力強化、エネルギーや食糧の自立度向上などが目標となった。
- 本事業では地域経済発展への貢献を課題とする。

中小企業の製品・技術

- 甘草加工事業工程で生じる回収上液を中和し肥料として再利用する技術で生産されるバイオスラッジ肥料を甘草人工栽培技術と組み合わせることで甘草の成長を促進し同社現法における甘草根収穫量を高め、CGA生産の効率化を実現する。

日本の中小企業の事業戦略

- 宏輝システムズは甘草を「中央アジアの残された天然資源」として着目し海外事業展開戦略を展開、タジキスタン、カザフスタン、アゼルバイジャンなど中央アジアとロシアの甘草生育地域を拠点にCGAのグローバルな調達戦略を実施している。
- 甘草加工工程で生じる回収上液を利用し、宏輝システムズが独自開発したバイオスラッジ肥料生産技術を活用、甘草根栽培技術移転/定着により進出先現地法人事業運営を改善、地方経済への貢献度を高める。
- 同時に本邦および国際市場におけるCGA需要に対応できるようにすることを事業戦略としている。

中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

- ①甘草資源の保護 ②甘草資源の持続的利用 ③地域経済への貢献